

二〇二〇年度 入学試験問題

国語総合 (試験時間60分)

※ 問題は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 2 問題冊子は13ページで、解答用紙は別になっています。不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 4 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ってください。

□ 1 次の文章をよく読んで、後の問いに答えなさい。なお、解答はすべて所定の解答欄に記入しなさい。

感覚の確認と発見

この章では、なぜ本を読むのか、そして本の魅力についてあらゆる角度から自分なりに考えてみたいと思います。

僕が本を読んでいて、おもしろいなあ、この瞬間だなあと思うのは、普段からなんとなく感じている細かい感覚や自分の中で曖昧模糊^{もも}としていた感情を、文章で的確に表現された時です。自分の感覚の確認。つまり共感です。

わかっていることをわかっている言葉で書かれていても、あまり共感はしません。言葉にできないであろう複雑な感情が明確に描写された時、「うわ、これや！」と思うんです。正確には「これやったんや」と思っているのかもしれませんが。自分の心の中で散らかっていた感情を整理できる。複雑でどうしようもなかった感情や感覚を、A形^あの合う言葉という箱に一旦しまうことができます。

お笑いにも「あるある」という共感の笑いがあります。あるあるは文学の共感とは違い安堵感^{あんど}の笑いですが、あるあるでウケるネタも誰もがわかっていることではなく、「そういえばそうだ」とか「そうかもしれない」というポイントです。僕が本を読んでも共感できる場所も、まったく同じ経験をしたわけではないけれど、「あの時の自分の感覚と近い」というものが多いんです。

芥川龍之介の『トロッコ』を読んだ時も状況は違うのに、かつて似たような恐怖を自分も感じたことを思い出しました。太宰治の『人間失格』を読んだ時も共感する部分が多かった。本を読むことによって感覚を確認できるんです。

本を読んで一番好きなのがこのB^び感覚の確認——共感の部分です。それに加えて本の魅力のもうひとつに感覚の発見というものがあると思います。本を読むことによって、これまで自分が持っていなかった新しい感覚が発見できることです。

例えば中高生の頃、本の中で不倫がテーマとして描かれていたら、もちろん自分には経験がないけれど、主人公がどんな判断、言動をするのか、それを知ることでも感覚の発見のひとつです。もしくは、自分が経験でき得る状況にあることが描かれている場合で

も、「え、そこでそうするんだ」「なるほど、その手があったか」というのも感覚の発見だと思えます。つまり、ある種の裏切りであり、それによりカシヨウゲキはイ一層大きなものになります

『火花』の中で「共感至上主義の奴達って気持ち悪いやん？」と書きました。本の話題になると、「私は共感できなかった」という人がけっこういます。いや、あなたの世界が完成形であって、そこからはみ出したものは全部許せないというそのスタンスってなんだろうと思うんです。あなたも僕も途上だし、未完成の人間でしょう。それをなぜ「共感できない」というキーワードで決めつけてしまうのか。「共感できない」という言葉でその作品を規定しない方がいいと思うんです。むしろわからないことの方が、自分の幅を広げる可能性があります。

それに加えて、主人公の人格がすごく重要視されることが多いように思います。主人公がちゃんとした人間でないといけない、おかしいやつは許さないという。小説の主人公自体も世の中の共感至上主義に侵されなければならないのでしょうか。

自分の感覚にはまるものがおもしろい、それ以外はおもしろくないというように読んでいくと、読書本来のおもしろさは半減してしまふと思います。読書のおもしろいところは、主人公が自分とは違う選択をすることを経験できることや、今まで自分が信じて疑わなかったようなことが、本の中でキヒハンされたり否定されたりすることにあると思います

言い換えれば読書によって今までなかった視点が自分の中に増えるということです。本に書かれていることがすべて正しいわけではないので、否定された自分の考えがなぜ否定されたのか、どのように否定されたのかを知り、それについて自分で考えを改めたり、いやそれは違うと反論したりすることによってさらに視点は増えていきます。

アルベール・カミュというフランスの小説家の『ウ異邦人』という作品があります。主人公は「太陽がまぶしかったから」と言って人を殺します。そんなもの、実世界において了解できるわけがありません。でも、「どうということなんだろう」とか「そんなものなのかな」とか「そういうこともあるかもな」と思いながら読み、考えるわけです。殺人に共感する必要はないけど、考える。

その上で主人公の気持ちに何か自分にも当てはまる部分があるかもしれない。ないかもしれない。本を読みながら主人公が置かれている状況や心境を想像してみる。それは自分にもうひとつの視点を持たせてくれることになるし、思考の幅を広げることになり

ます。

人間は完全ではありません。完全でありすぎるとしんどいかもしれません。自分に自信を持つことはいいことですが、自分がわからないものを否定し遠ざけ、理解できること、好きなことだけに囲まれることは危険です。わからないものを否定して拒絶を続けるなら、^D その先は争いしか生まれないと思います。自分と考えの違う人間や文化をも拒絶することになってしまふ。それは本当につまらないことだと思ふんです。すべてに共感するのではなく、わからないことを拒絶するのではなく、わからないものを一旦受け入れて自分なりに考えてみる。

本を読んで共感するということは、間違ひなく読書の中で重要でおもしろい部分です。でもそれが本のおもしろさの半分。残りの半分は新しい感覚の発見だと思います。

家事で言うと、共感に感覚を整理する便利な箱のような役割があるのだとしたら、発見には新しい電化製品を購入した時のような快感があります。家事が楽になると嬉しいですよ。読書で得た発見によって思考速度が上がることは珍しいことではありません。僕やみなさんが普段使っている道徳や考え方というのは現代の世の中に普及しているシェアナンバーワンの洗濯機にすぎないのかもしれませんが。みんな使っているし、説明書を読まなくてもだいたいわかるし、なじみもあるしということに^クオボれているだけかもしれません。新型でもっと性能の優れた洗濯機があるかもしれない。部分汚れを落とすなら過去に主流だった手洗いの方が強いかもしれない。何が正しいかなんて実際に検証してみないとわかりません。「私には共感できませんでした」は、シェアナンバーワンの商品を使っている人達の「絶対にこれが一番良いに決まっている」と似ています。それで^E すべての汚れが落ちるとは限りません。

すみません。途中から電化製品に^工 喩えるのが気持ち良くなってしまいました。

感覚の確認と発見の両方があり、それがせめぎ合っている本が僕は好きです。読者である僕達がそれを意識して楽しもうと思うことよって、読書はさらにおもしろいものになってゆくと思ふます。

(中略)

本に無駄な文章はない

小説に文体、というものがあることを初めて意識したのが、野坂昭如さんの『火垂るの墓』でした。

小学六年の時、読書感想文のために初めて読みました。最初は「むずっ！」と思って読んでいました。最後まで読めるのかなあと思いつながり読み進めていくと、闇市のシーンにぶつかりました。オ読点「。」も句点「。」さえもほとんど使わず、闇市に並ぶ品物をケラレツしてゆきます。なぜこんなに読みにくくするのか。間違いなくわざとです。でもそのうち、絵が浮かんできました。なるほど、この人は絵を描くように文章を書いているんだと思いました。こんな表現も文章でできるのか。

野坂さんご本人がどんな意図で書かれたのかはわかりませんが、僕には絵が浮かびました。整然とした商店街ではなく、どこで何を売っているかわからないような闇市の様子が目の前に現れるようでした。

今『火垂るの墓』を読み返すと泣けて仕方ないですね。当時はあんなに難しいと思っていた「ボウトウの三宮の風景から素晴らしい。もう完璧に絵が描けるぐらい映像が浮かぶ。文体のおもしろさについて考えるとなぜ難しく書く必要があるのかという問いが出てきます。

作家は頭の中で考えたことを文字にし、それを読者が頭の中で再構築します。作者が思い描いたことを完璧に読者が頭の中で再現できれば、それは理想の形です。

公園で小学生がサッカーをしていて、高校生がいきなり入ってきたとします。その時の小学生の恐怖を描こうとしたら、例えば高校生の太い太股を細かく描写します。そうすれば、小学生の目線の位置や高校生の大きさ、それに対する恐怖を読者が再現する度合いは随分と違ってくると思います。そういう描写の線を増やすことによって文章はよりおもしろくなります。

読者は想像力があるから説明しすぎてもいけません。線を増やしたり減らしたり、作家は読者が文章をどう再現するかを考えながら、F細かい仕掛けをしています。

例えば、登場人物の気持ちとして「悲しい」と書くかどうか。「悲しい」と書かずに、風景や別の心理描写で悲しいという気持ち

ちを表現する。そうやって「悲しい」という言葉を避け、他の描写を重ねた上で出てきた「悲しい」という言葉は、また別の意味になつてきます。

H 本の中に無駄な文章はひとつもありません。それは漫才の中に無駄な言葉があつてはいけないのと同じです。無駄なおもしろさはありません。しかしそれは必要な無駄、仕掛けのための無駄です。

作者は意図を持ってその描写、表現をしています。僕達読者はそれを面倒くさいと思つたらもつたいたい。作者が何をやるうとしているのか、何を語ろうとしているのか、文体や描写も含め、一行目からワクワクしてもらいたいなと思ふんです。

(又吉直樹『夜を乗り越える』小学館よしもと新書より)

問一 二重傍線部ア〜オの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問二 二重傍線部カ〜コのカタカナに相当する漢字を楷書で書きなさい。

問三 傍線部A「形の合う言葉」の意味として最も適切なものを次から一つ選びなさい(以下、選択肢問題は問の番号・記号で答えること)。

- ① 無駄のない言葉
- ② 誰もがよくわかっている言葉
- ③ 的確に表現された言葉
- ④ 整然とした言葉

問四 傍線部B「感覚の確認」が、本を読んで一番好きな理由として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① 自分では経験できないことを、本は経験させてくれるから
- ② よくあることだと、本は安堵させてくれるから
- ③ 見たことのない情景を、本は絵のように見せてくれるから
- ④ 自分ではうまく表現できない感覚や感情を、本が明確に描写してくれるから

問五 傍線部C「世の中の共感至上主義」を筆者が否定する意味として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① 新しい感覚の発見をさまたげるから
- ② 少数の感覚を差別するから
- ③ 他人の感覚に介入するから
- ④ 世の中の大勢に流されるから

問六 傍線部D「その先は争いしか生まれなれないと思います」の理由として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① 互いに相手から嫌われるから
- ② 他者を拒絶し、他者と対立するから
- ③ どちらが正しいか、という論争になるから
- ④ 世の中の流れに逆らうことになるから

問七 傍線部E「すべての汚れが落ちるとは限りません」は比喩的な表現です。何をたとえた意味か、最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① すべての読者が納得できるとは限りません
- ② すべての感覚が表現できるとは限りません
- ③ すべての疑問が解消できるとは限りません
- ④ すべての共感を集められるとは限りません

問八 傍線部F「細かい仕掛け」を、なぜ作家はするのか、その答えとして最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① 作家の意図を読者が正確に再現するように
- ② 読者に関心を持ってもらうように
- ③ 作家の意図がすぐにはわからないように
- ④ 読者に未知の感覚を知ってもらうように

問九 傍線部G「また別の意味になってきます」の意味として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① まったく違う意味になってきます
- ② 反対の意味になってきます
- ③ より深い意味になってきます
- ④ 未知の新しい意味になってきます

問十 傍線部H「本の中に無駄な文章はひとつもありません」の理由として最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ① 仕掛けのための無駄は無駄とはいえないから
- ② 作家が全力で書いたものだから
- ③ すべての文章は意図を持って書かれているから
- ④ すべての読者に共感してもらえるように多様な視点で書かれているから

問十一 A芥川龍之介、B太宰治、C堀辰雄、D宮沢賢治、E村上春樹 F三島由紀夫の代表作を選びなさい。

- ① 風立ちぬ
- ② 天国と地獄
- ③ 限りなく透明に近いブルー
- ④ 羅生門
- ⑤ もののけ姫
- ⑥ 走れメロス
- ⑦ 潮騒
- ⑧ セロ弾きのゴーシュ
- ⑨ 耳をすませば
- ⑩ ノルウェイの森

二

次の文の（ ）の箇所にとの語句を補えばよいのか、最も適切なものを、それぞれア～ウの中から選びなさい。

- 1 式典に備えて、礼服を（ア）しつらえた イ こしらえた ウ あつらえた。
- 2 子供に（ア）おざなり イ なおざり ウ おきざり）な教育をしてはいけない。
- 3 弱い相手だと油断して、足を（ア）はらわれ イ すくわれ ウ とられ）ないようにしろ。
- 4 接客中は細かいところまで（ア）目くばせ イ 目くぼり ウ 目こぼし）するようになさい。
- 5 自分から言いだした以上は、引くに（ア）引かない イ 引かれない ウ 引けない）。

三

次にあげた1〜3の言葉を正しく使った文は、次のア〜ウのどれか、記号で答えなさい。

1 具に（つぶさに）

ア 会議の経過をつぶさに報告する。

イ つぶさに空が曇ってきた。

ウ 髪をつぶさにまとめて和服に着替えた。

2 与する（くみする）

ア 相手の気持ちをくみする。

イ 彼の提案にくみする。

ウ 井戸の水をくみする。

3 漸次（ぜんじ）

ア 市の人口は、ぜんじ拡大しています。

イ この会議はぜんじ休憩します。

ウ ぜんじ考えたこともあったが、断念した。

四 次の1～5は、目上の人やあまり親しくない人に対する言い回しです。最も適切な表現をア～ウの中から選び、記号で答えなさい。

1 店内で（ア お召し上がりですか イ お召し上がられますか ウ 召し上がりますか）。

2 デザートはどちらに（ア しましょうか イ なさいですか ウ いたしますか）。

3 ご注文は（ア 以上ですか イ 以上でよろしいでしょうか ウ 以上でよろしかったでしょうか）。

4 庭園も（ア 拝見なさい イ ご覧になられ ウ ご覧になりましたか）。

5 クレジットカードは（ア ご利用になれ イ ご利用していただけ ウ ご利用できません）。

五 次のカタカナにあてはまる漢字を、それぞれ候補の中から選び、記号で答えなさい。

1 その光景を見て、目がテンになった。

2 禍をテンじて福となす。

3 テンは二物を与えず。

（ア 店 イ 典 ウ 点 エ 天 オ 転）

- 4 六時にキシヨウして登山を始める。
- 5 胸には探検隊のキシヨウをつけた。
- 6 キシヨウな野生動物を発見した。
- 7 野生動物はキシヨウが荒い。
- 8 山のキシヨウは変わりやすい。

(ア) 記章 イ 氣勢 ウ 希少 エ 規証 オ 起床 カ 氣象 キ 気性

- 9 シコウ錯誤の末、ようやく成功した。
- 10 日本人はブランドシコウが強い。
- 11 輸出先としてシコウする国をアジア地域に限定した。
- 12 新しい法律がシコウされた。
- 13 シコウ力を鍛えるためのトレーニングをしている。

(ア) 指向 イ 試行 ウ 指行 エ 思向 オ 施行 カ 思考 キ 志向

六

次の1～5の空欄に適切な漢字を入れて四字成語を作りなさい。(A)漢字はア～キから選び、記号で答えなさい。また、(B)正しい意味をa～gから選び、記号で答えなさい。選択肢には使わない漢字や意味もあります。

1 色即 空

2 百戦錬

3 快刀乱

4 一 当千

5 国士無

(A) (ア) 騎 イ 双 ウ 是 エ 馬 オ 磨 カ 奔 キ 麻

(B) a もつれた問題を素早く解決すること。

b 一人で千人の敵を倒せるほど強い人のこと。

c この世の物質的なものはすべてむなしい存在であること。

d 百回戦っても百回勝つほど強い人のこと。

e 国内に二人といないほどすぐれた人のこと。

f 千人に一人しかいないほどすぐれた人のこと。

g 多くの経験を積み重ねて鍛えられること。

二〇二〇年度 国語総合 解答用紙

六

B	A
1	1
c	ウ
2	2
g	オ
3	3
a	キ
4	4
b	ア
5	5
e	イ

1点*5	2点*5
5	10

五

11	6	1
ア	ウ	ウ
12	7	2
オ	キ	オ
13	8	3
カ	カ	エ
	9	4
	イ	オ
	10	5
	キ	ア

1点*26

26

--	--	--	--

三

1
ア
2
イ
3
ア

--	--

二

1
ウ
2
ア
3
イ
4
イ
5
ウ

2点*6

12

--	--

一

問十一	問九	問三	問二	問一
A			カ	ア
4	3	3	衝撃	あいま
	問十	問四	キ	イ
B			批判	いっそう
6	3	4		ウ
C		問五	ク	いほうじ
1		1	溺	ん
D		問六	ケ	エ
8		2		たど
E		問七	羅列	オ
10		2	コ	とうてん
F		問八	冒頭	
7		1		
	4点*2	4点*6	2点*5	1点*5
	8	24	10	5

2点*6

12

--	--	--	--

氏名

受験番号					

--	--

100

--	--	--	--